

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

### 1 目指す姿と数値目標

#### ミッション

アーティスト・クリエイターをエンパワーし、ファン体験を豊かにすることで、文化・芸術と社会の多様性に貢献する。

連結売上高  
240億円

営業利益  
16億円

営業利益率  
7%

ROE  
10%超

### 2 中長期の経営戦略

#### 1. セグメント間シナジー

コンテンツセグメント成長でソリューション収益が増加し、ソリューション成長でコンテンツ獲得機会が増加する相乗効果を創出。

#### 3. 多様なコンテンツ対応

HIPHOP、ゲーム音楽、VTuberなど多様なジャンルに対応するコンテンツ制作・イベント企画に取り組む。

#### 2. テクノロジー融合

SKIYAKIとの経営統合により、コンテンツとテクノロジーを有する数少ない企業体を形成し、業界変化を先取りする。

#### 4. DIYアーティスト支援

SKIYAKIプラットフォーム強化により、独立系アーティストの成長支援と新しい音楽エコシステム構築に注力。

### 3 対処すべき課題

#### ① 市場環境の変化対応

- ・グローバル音楽ストリーミング市場成長鈍化への対応
- ・AI・SNS・UGC影響下での消費スタイル変化への対応
- ・グローバル配信パートナー連携強化とデジタルマーケティング体制整備

#### ② 消費者ニーズの多様化

- ・Z世代消費者の多様な音楽嗜好・消費行動への対応
- ・リアルとデジタル融合体験の価値向上

#### ③ ファンエンゲージメント強化

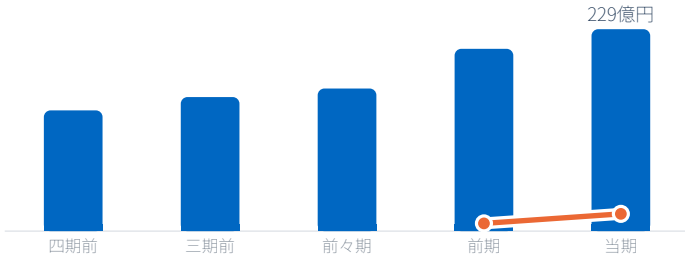
- ・ファンロイヤルティ向上とLTV最大化
- ・オンライン・オフライン継続接点の創出
- ・デジタル活用による個別最適化体験設計

#### 面接で使えるポイント

- ・中期経営計画『Ignite 2027』で売上高240億円、ROE10%超を目指す成長志向の企業である。
- ・SKIYAKIとの経営統合によりコンテンツとテクノロジーを融合し、エンタテインメント業界の変化を先取りする企業体を形成。
- ・DIYアーティスト支援やファンエンゲージメント強化により、新しい音楽エコシステムの中核を目指している。

証券コード 4838

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高  
229億円

営業利益率  
8.6%

財務健康度  
35点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 53.1（当サイト算出の参考指標）

要するに  
スペースシャワーS K I Y A K I ホールディングス  
は

主力事業・セグメント

- ・ソリューション 50.6%
- ・Contents 49.4%

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率8.6%の安定した収益性
- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収  
680万円

情報・通信業内 241位/592社

平均年齢  
39.2歳

情報・通信業内 229位/593社

平均勤続  
9.4年

情報・通信業内 156位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: スペースシャワーS K I Y A K I ホールディングス[4838] :

